



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場会社名 株式会社 千葉興業銀行 上場取引所 東
コード番号 8337 URL <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 梅田 仁司
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 中村 遵史 TEL 043-243-2111
配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満、小数点第1位未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	13,964	△8.1	2,835	△18.5	2,160	△9.4
2024年3月期第1四半期	15,207	9.3	3,480	137.4	2,385	100.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △921百万円（-%） 2024年3月期第1四半期 6,897百万円（-%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	37.49	23.42
2024年3月期第1四半期	41.69	17.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,307,062	176,205	5.1
2024年3月期	3,229,226	187,280	5.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 171,517百万円 2024年3月期 182,510百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 10.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、P.3「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,800	△36.7	2,000	△54.4	34.93
通期	9,300	△9.2	5,700	△23.2	84.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 有
新規 1社 (社名) 株式会社ちばくる、 除外 1社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	62,222,045株	2024年3月期	62,222,045株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,940,972株	2024年3月期	4,962,715株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	57,262,813株	2024年3月期1Q	57,227,979株

(注) 当行は株式給付信託制度を導入しており、当該信託が所有する当行株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において当行が入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、国内外の経済情勢、株式市場等の状況変化等がありますが、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る年間配当金の内訳は以下のとおりです。

第二種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	104.00	104.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		—	—	104.00	104.00

第2回第六種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	300.00	300.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		—	—	300.00	300.00

第1回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	900.00	900.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		—	—	900.00	900.00

第2回第七種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	9,000.00	9,000.00
2025年3月期	—				
2025年3月期（予想）		—	—	9,000.00	9,000.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 5
(セグメント情報等の注記)	P. 5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 6
(重要な後発事象の注記)	P. 7
3. 2025年3月期第1四半期決算 補足説明資料	P. 8
(1) 損益の状況【単体】	P. 8
(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】	P. 9
(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】	P. 9
(4) 自己資本比率(国内基準)【単体】【連結】	P. 10
(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】	P. 10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期のわが国経済は、感染症からの社会・経済活動の正常化が進み、国内景気は、物価高や円安の影響を受けながらも、好調な企業業績を背景に賃上げの気運が拡大し、緩やかな回復基調にあります。

当行グループが営業基盤とする千葉県におきましても、個人消費や住宅建設、企業の設備投資、企業景況感などは、一部に弱さがみられるものの、全体的には緩やかに持ち直しております。

当行は2022年4月にスタートさせた中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025 ～ CKBコミュニティ確立に向けて 1st ステージ～」に基づき、各種施策を積極的に展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当行グループの経営成績は次のようになっております。

経常収益は、前年同期比12億43百万円減少の139億64百万円となりました。経常費用は同5億98百万円減少の111億28百万円となっております。

これらにより、経常利益は前年同期比6億44百万円減少の28億35百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2億25百万円減少の21億60百万円となっております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末比778億円増加の3兆3,070億円となりました。また、純資産は同110億円減少の1,762億円となっております。

主要勘定の残高は次のとおりです。預金は前連結会計年度末比500億円増加の2兆9,265億円となりました。また、貸出金は同24億円減少の2兆3,746億円、有価証券は同119億円減少の5,134億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	258,928	350,886
買入金銭債権	97	97
商品有価証券	136	137
有価証券	525,434	513,439
貸出金	2,377,146	2,374,669
外国為替	3,246	3,034
その他資産	42,177	43,095
有形固定資産	18,915	18,792
無形固定資産	2,865	2,720
退職給付に係る資産	1,154	1,194
繰延税金資産	76	80
支払承諾見返	7,167	7,007
貸倒引当金	△8,121	△8,092
資産の部合計	3,229,226	3,307,062
負債の部		
預金	2,876,448	2,926,507
譲渡性預金	105,200	136,400
コールマネー及び売渡手形	—	12,000
借入金	27,217	26,640
外国為替	135	126
その他負債	21,600	19,046
退職給付に係る負債	132	134
役員退職慰労引当金	35	16
株式給付引当金	224	218
睡眠預金払戻損失引当金	44	34
偶発損失引当金	265	265
繰延税金負債	3,473	2,458
支払承諾	7,167	7,007
負債の部合計	3,041,946	3,130,856
純資産の部		
資本金	62,120	62,120
資本剰余金	6,971	6,971
利益剰余金	96,889	88,883
自己株式	△2,338	△2,328
株主資本合計	163,643	155,647
その他有価証券評価差額金	15,902	12,760
繰延ヘッジ損益	284	453
退職給付に係る調整累計額	2,680	2,655
その他の包括利益累計額合計	18,867	15,870
新株予約権	145	148
非支配株主持分	4,624	4,539
純資産の部合計	187,280	176,205
負債及び純資産の部合計	3,229,226	3,307,062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	15,207	13,964
資金運用収益	7,466	7,752
(うち貸出金利息)	5,580	5,618
(うち有価証券利息配当金)	1,628	1,892
役務取引等収益	3,200	3,183
その他業務収益	28	81
その他経常収益	4,512	2,946
経常費用	11,727	11,128
資金調達費用	218	273
(うち預金利息)	34	146
役務取引等費用	1,060	1,122
その他業務費用	269	938
営業経費	6,625	6,535
その他経常費用	3,552	2,258
経常利益	3,480	2,835
特別損失	8	0
固定資産処分損	8	0
税金等調整前四半期純利益	3,471	2,835
法人税、住民税及び事業税	1,258	293
法人税等調整額	△178	352
法人税等合計	1,079	645
四半期純利益	2,392	2,190
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,385	2,160

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,392	2,190
その他の包括利益	4,505	△3,112
その他有価証券評価差額金	4,515	△3,256
繰延ヘッジ損益	△50	169
退職給付に係る調整額	40	△25
四半期包括利益	6,897	△921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,729	△836
非支配株主に係る四半期包括利益	167	△85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	信用保証・クレジット カード業	計				
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	12,800	2,121	273	15,195	55	15,251	△43	15,207
セグメント間の内 部経常収益	667	12	154	835	235	1,070	△1,070	—
計	13,468	2,134	427	16,030	290	16,321	△1,113	15,207
セグメント利益又は 損失(△)	3,870	45	233	4,149	△20	4,129	△649	3,480

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務を含んでおります。

3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△43百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。その他の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	信用保証・クレジット カード業	計				
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	11,480	2,150	264	13,895	68	13,964	—	13,964
セグメント間の内 部経常収益	518	7	143	669	233	903	△903	—
計	11,999	2,157	408	14,565	302	14,867	△903	13,964
セグメント利益又は 損失(△)	3,076	64	227	3,368	△30	3,338	△503	2,835

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、コンピュータシステムの開発・販売・保守管理業務及び地域商社・農業・コンサルティング業務を含んでおります。

3. 調整額は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

5. 2024年4月1日付で新規設立し、連結子会社とした株式会社ちばくるは、「その他」に含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2024年3月28日開催の取締役会において、第1回第七種優先株式について、会社法第459条第1項及び当行定款第16条第2項の規定に基づく自己株式の取得及び会社法第178条に基づく自己株式の消却に係る事項について決議し、2024年5月2日に実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において利益剰余金が8,588百万円減少、自己株式が8,588百万円増加及び減少し、当第1四半期連結会計期間末において利益剰余金は88,883百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	504百万円	524百万円

(重要な後発事象の注記)

(子会社の設立)

当行は、2024年6月26日開催の取締役会において、当行の全額出資により、投資専門会社「株式会社ちば興銀キャピタルパートナーズ」（以下「当社」という。）の設立を決議し、2024年7月1日に当社を設立いたしました。

1. 設立の目的

当行は、2022年4月からの中期経営計画「幸せデザイン 絆プロジェクト 2025 ～ CKBコミュニティ確立に向けて 1stステージ～」において、同計画の対象となる3年間を長期経営戦略である「みなさまの幸せとともにデザインし、ステークホルダーとの強固な関係で構築された“CKBコミュニティ”の確立」に向けた基盤構築のステージと位置付けております。

このようななか、「事業承継」・「事業再生」・「創業支援」など、お客さまのニーズが多様化・高度化し、さらに増加していることに対して、専門的な金融サービスを提供することで、地域経済・社会の持続的発展に貢献すべく、当社を設立することといたしました。

当行グループは、投資専門会社を通じたエクイティ出資による資金の供給をはじめとした幅広い金融サービスを提供することで、お客さまの多種多様なニーズや課題の解決に向けて積極的に取り組んでまいります。

2. 子会社の概要

- | | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 名称 | 株式会社ちば興銀キャピタルパートナーズ |
| (2) 所在地 | 千葉県千葉市美浜区幸町二丁目2番2号 |
| (3) 事業内容 | ・投資事業有限責任組合（ファンド）の組成・運営・管理業務
・投資対象会社等に対するコンサルティング業務
・投資対象会社等に対するビジネスマッチング業務
・上記に付帯または関連する一切の業務 |
| (4) 資本金 | 50百万円 |
| (5) 設立の時期 | 2024年7月1日 |
| (6) 株主構成 | 株式会社千葉興業銀行 100% |

(第二種優先株式の取得及び消却)

当行は、2024年7月30日開催の取締役会において、第二種優先株式の一部につき、会社法第459条第1項及び当行定款第16条第2項の規定に基づく自己株式の取得及び会社法第178条に基づく自己株式の消却に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

第二種優先株式はパーゼルⅢにおいて「適格旧非累積的永久優先株」にあたり、2025年3月末基準の自己資本比率の算出においてその一部がコア資本に不算入となります。今般、第二種優先株式のうちコア資本不算入となる額に相当する株式を取得することにより、今後の当該優先株式に係る配当負担の軽減、ひいては当行財務基盤の維持・向上と当行普通株式の価値向上に資するものと考えております。

- | | |
|------------------|------------------------------------------|
| 2. 取得及び消却対象株式の種類 | 第二種優先株式 |
| 3. 取得及び消却対象株式の総数 | 500,000株
(発行済第二種優先株式総数に対する割合20%) |
| 4. 株式の取得価額の総額 | 2,000,000,000円 |
| 5. 株式の取得の方法 | 全第二種優先株主に対して通知又は公告して行う第二種優先株主との合意による有償取得 |
| 6. 取得及び消却日 | 2024年8月20日（予定） |

3. 2025年3月期第1四半期決算 補足説明資料

(1) 損益の状況【単体】

【業務粗利益等】

業務粗利益は、資金利益・役務取引等利益がおおむね前年同期並みを確保したものの、その他業務利益のうち、国債等債券関係損益の減少を主因として、前年同期比5億89百万円減少しております。

業務純益は、人件費・物件費などの経費が前年同期並みだったことから、同5億77百万円減少の23億98百万円となりましたが、業務純益から国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は、同94百万円増加(+2.9%)の33億11百万円となっております。

【経常利益】

コストである不良債権処理額は改善した一方で株式等関係損益の減少などにより、臨時損益は前年同期比2億16百万円減少となりました。この結果、経常利益は、同7億93百万円減少(△20.5%)の30億76百万円となりました。なお、2025年3月期第2四半期業績予想(経常利益41億円)に対する進捗率は75.0%となっております。

【四半期純利益】

四半期純利益は、前年同期比4億86百万円減少(△16.8%)の24億3百万円となりました。なお、2025年3月期第2四半期業績予想(中間純利益31億円)に対する進捗率は77.5%となっております。

(単位:百万円)

	2025年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
業務粗利益	8,830	9,419	△589
(除く国債等債券関係損益)	(9,742)	(9,659)	(83)
資金利益	7,970	7,891	78
役務取引等利益	1,716	1,768	△52
その他業務利益	△857	△241	△615
経費(除く臨時処理分) (△)	6,431	6,443	△11
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	2,398	2,976	△577
コア業務純益	3,311	3,216	94
除く投資信託解約損益	2,621	2,356	265
一般貸倒引当金繰入額 (△)	(25)	(△38)	(64)
業務純益	2,398	2,976	△577
国債等債券関係損益	△912	△240	△672
臨時損益	678	894	△216
不良債権処理額 ① (△)	54	1,241	△1,187
うち個別貸倒引当金繰入額 (△)	(△38)	(△166)	(127)
貸倒引当金戻入益 ②	13	205	△192
償却債権取立益 ③	142	95	47
株式等関係損益	490	1,827	△1,336
経常利益	3,076	3,870	△793
特別損益	△0	△8	8
税引前四半期純利益	3,076	3,861	△785
法人税等合計 (△)	672	971	△299
四半期純利益	2,403	2,890	△486
貸倒償却引当費用(①-②) (△)	41	1,036	△994
実質信用コスト(①-②-③) (△)	△101	941	△1,042

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. コア業務純益=業務純益(一般貸倒引当金繰入前)-国債等債券関係損益

3. 2025年3月期第1四半期および2024年3月期第1四半期においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を貸倒引当金戻入益に計上しております。

(2) 預金、投資信託等、貸出金等の残高【単体】

① 預金、投資信託等預り資産

預金残高は前年同期比250億円増加(+0.8%)の2兆9,341億円となりました。このうち、個人預金は同269億円増加(+1.2%)の2兆1,691億円となっております。

預り資産残高では、投資信託等の残高が同332億円増加(+21.1%)、年金保険等の残高が同200億円増加(+8.6%)しております。

	(単位:億円)			(参考)	(単位:億円)
	2024年6月末	2023年6月末	前年同期比	2024年3月末	
預金	29,341	29,091	250	28,846	
うち個人預金	21,691	21,421	269	21,468	
譲渡性預金	1,364	1,297	67	1,052	
公共債	108	104	4	105	
投資信託等	1,905	1,573	332	1,808	
年金保険等	2,510	2,310	200	2,479	

② 貸出金

貸出金残高は、中小企業等貸出を中心に増加を図り、前年同期比141億円増加(+0.5%)の2兆3,790億円となりました。

	(単位:億円)			(参考)	(単位:億円)
	2024年6月末	2023年6月末	前年同期比	2024年3月末	
貸出金	23,790	23,649	141	23,809	
うち住宅ローン	7,928	8,232	△303	8,009	
中小企業等貸出	21,144	20,957	186	21,154	

(3) 時価のある有価証券の評価差額【連結】

	(単位:億円)				(参考)				(単位:億円)			
	2024年6月末				2023年6月末				2024年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他有価証券	4,370	189	350	160	4,544	172	306	134	4,487	236	368	131
株式	461	339	340	0	399	289	291	1	477	357	357	0
債券	2,628	△85	0	85	2,746	△30	2	33	2,891	△58	0	59
その他	1,280	△64	10	74	1,397	△86	13	100	1,119	△61	10	72

(注) なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位:億円)				(参考)				(単位:億円)			
	2024年6月末				2023年6月末				2024年3月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的の債券	738	△32	0	32	318	1	2	0	741	△6	1	8
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4) 自己資本比率（国内基準）【単体】【連結】

2024年6月末における銀行単体の自己資本比率は、前年同期比0.35ポイント低下し8.57%となりました。また、連結の自己資本比率も同0.42ポイント低下し8.67%となっております。

【単体】

	(単位:百万円)			(参考) (単位:百万円)
	2024年6月末	2023年6月末	前年同期比	2024年3月末
①自己資本比率 (%)	8.57	8.92	△0.35	9.00
②コア資本に係る基礎項目	156,808	158,759	△1,951	162,957
③コア資本に係る調整項目	1,705	1,729	△24	1,807
④自己資本 ②-③	155,103	157,030	△1,927	161,149
⑤リスクアセット	1,808,724	1,759,392	49,331	1,790,507

【連結】

	(単位:百万円)			(参考) (単位:百万円)
	2024年6月末	2023年6月末	前年同期比	2024年3月末
①自己資本比率 (%)	8.67	9.09	△0.42	9.11
②コア資本に係る基礎項目	160,887	163,852	△2,965	167,325
③コア資本に係る調整項目	2,732	1,950	782	2,795
④自己資本 ②-③	158,154	161,902	△3,747	164,530
⑤リスクアセット	1,823,363	1,779,684	43,679	1,805,780

(5) 金融再生法開示債権及びリスク管理債権【単体】

金融再生法に基づく不良債権額は、前年同期比7億円減少の425億円となりました。また、総与信残高に占める不良債権額の割合（不良債権比率）は、同0.03ポイント低下し1.76%となっております。

今後とも地元企業の経営課題解決支援に取組み、お取引先企業の経営改善を積極的にサポートし、恒久的な金融円滑化に取り組んでまいります。

	(単位:億円)			(参考) (単位:億円)
	2024年6月末	2023年6月末	前年同期比	2024年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51	52	△1	50
危険債権	318	331	△13	320
要管理債権	56	48	7	55
うち三月以上延滞債権	0	1	△1	0
うち貸出条件緩和債権	55	46	8	55
合計 ①	425	432	△7	426
正常債権	23,728	23,637	90	23,754
総与信残高 ②	24,153	24,070	83	24,180
不良債権比率 (%) ①/②	1.76	1.79	△0.03	1.76

以上